

北陸土木コンクリート製品技術協会との意見交換会を実施

北陸地方整備局は、令和3年11月11日(木) 新潟市内において、(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会と、土木用コンクリート二次製品の活用や今後の取り組みについて意見交換会を実施しました。

【議題】

- ①社会資本の維持に必要な事業費の確保について
- ②北陸地方整備局における令和3年度の実施方針について
- ③工事連携会議へのオブザーバー参加について
- ④新工法・新製品の開発・改良に向けた連携について
- ⑤コンクリート業界の環境への取組について

【北陸地方整備局からの情報提供】

- ・北陸地方整備局の予算と主要事業
- ・建設業における担い手確保に向けた働き方改革
- ・建設現場の生産性向上
- ・受発注者間のコミュニケーション確保
- ・PCa製品の活用の取組み(国交省からの情報) 他



(写真)意見交換の様子

【主な意見交換の内容】

- ・現状、プレキャストPC桁やプレキャストPC床版などの工場製品は共通仮設費の対象外として基準書に明記されているが、大型プレキャストボックスカルバートは工場品質管理という点で同様であり、工事価格を高くしている要因。
- ・大規模工事等では、製品の供給量と需要のバランスをとることが重要であり、概算数量発注が増えている事も踏まえると、早い段階で当協会の声を聞いてもらえるよう工事連携会議の仕組みを変えてもらいたい。
- ・セメントに関しては、脱炭素化、ゼロ化は難しい。化学の世界なので特に難しいが、北陸で積極的に研究・開発を進め、情報発信できないかと思っているので整備局の協力をお願いしたい。